



大分県議会議員 2023年 夏号
県民クラブ会報「県民ひろば」別府市版

原田たかし 会報

教育・福祉・労働

子どもたちが「生まれてきてよかった」、
高齢者の方々が「長生きしてよかった」と
思える社会を実現するために。

大分県議会議員 原田 孝司

発行責任者：大分県議会・県民クラブ 原田孝司

連絡先：別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所 TEL・FAX 0977(25)0011 E-Mail harada@ctb.ne.jp

大分県議会 2023年 第1回臨時会・第2回定例会行われる

7月5日(水)から8月2日(水)にかけて、大分県議会2023年第2回定例会が行われ、佐藤樹一郎・新知事による補正案、いわゆる「肉付け予算案」が審議されました。

また、先立つ5月18日(木)・19日(金)にかけて、改選後に行われる組織議会である第1回臨時会が開催されました。【本会報の2・3ページに詳細を掲載】

統一自治体選挙・別府市議会議員選挙行われる

4月23日(日)、統一自治体選挙の後半戦で別府市議会議員選挙が行われ、私の仲間である加藤信康議員が5期目、森山義治議員と三重忠昭議員がそれぞれ4期目の当選を果たしました。なお、改選後の議会で、加藤信康市議は第57代議長に選出されました。



同日に行われた参議院大分選挙区補選では、吉田忠智さんは僅差で及びませんでした。2年後の雪辱を願っています。

(写真は左から、加藤信康市議、森山義治市議、三重忠昭市議 2023.4.23)

「選挙に行っても変わらない」、それとも「選挙に行かないから変わらない」

4月9日(日)に行われた県議選の別府市での投票率は52.45%でした。別府市議選は53.32%。参議院補選は別府市で52.55%、県全体では42.48%と低い投票率でした。まさに、半分の方しか投票していません。期日前投票所の増設、インターネットでの投票など、投票のあり方を抜本的に再考する時期に来ているのかもしれない。

私が訴えたいのは「選挙」の意義や大切さです。「選挙に行っても変わらない」という声をよく聞きますが、「選挙に行かないから変わらない」のではないのでしょうか。

今年度は土木建築委員会に所属



第1回土木建築委員会の様子。
私は左から二番目です。

第1回臨時会で、私は今年度、久しぶりに土木建築委員会に所属することになりました。道路、橋梁、河川改修、港湾、災害対策工事などのインフラ整備はとても身近な問題です。限りある財源を、どのように優先順位をつけ有効に使っていくのか注視していきます。



先日は、県内所管事務調査で県内各地を回り、進められている事業を視察しました。写真は建設が進められている中津日田道路の5号トンネル工事現場です。

折り鶴に込めた願い

原田孝司のシンボルマークは平和を象徴する折り鶴です。
背景には、教育・福祉・労働を表現する虹がかかっています。